

科目名	現代文B	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組
学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。			教科書・副教材等	高等学校改訂版 現代文B (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重しての向上を図ろうとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>評論(一) 写真の持つ力</p> <p>小説(一) 檸檬</p> <p>評論(二) 言語が見せる世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・「ジャーナリズムに何ができるのか？」という問いに対する筆者の考えを理解する。 ・写真というメディアの持つ特徴について調べ、まとめる。 ・文体・描写・構成に着目し、言語表現の豊かさ、面白さを学ぶ。 ・場面の展開と、登場人物の心情について、正しく読み取る。 ・「プロトタイプ」という概念とその形成について理解する。 ・現代社会における言語観・生命観について見識を深める。 			中 間 期 末
2 学 期	<p>評論(三) 目に見える制度と見えない制度</p> <p>小説(二) 舞姫</p> <p>詩 足と心 自然の背後に隠れて居る句を切る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の論理展開を把握して、筆者の主張を的確に読み取る。 ・自然で自明と思われているものが、実はある制度やしかけの中で意図的に作られていくものであることを理解する。 ・近代の代表的な小説を読み、文学のおもしろさを味わう。 ・時代や人間のあり方について理解を深める。 ・文語文体を味わい、文体・修辞・語句の意味などを正確に捉え言語感覚を磨く。 ・ある程度の長さのある小説の読み方に習熟する。 ・散文とは異なる、抽象的な現代詩のおもしろさを積極的に味わう。 ・近代の代表的詩人である萩原朔太郎の世界を味わう。 ・萩原朔太郎について、知識や関心を持つ。 			中 間 期 末
3 学 期	<p>評論(五) 「である」ことと「すること」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった分量のある評論を読解する。 ・「『である』論理」と「『すること』論理」の違いを正しく理解する。 ・「『である』こと」と「『すること』こと」について、自身の価値観に引きつけて考える。 			学 年 末

科目名	古典A	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	古文と漢文を読む能力を養うとともに、古典についての理解や関心を深めることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにする態度を育てる。			教科書・副教材等	古典A (三省堂) 新訂国語図説 (京都書房)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1	宇治拾遺物語 『百鬼夜行』 『観音になった男』 『袴垂と保昌』 『応天門炎上』 『歌詠みの徳』	<ul style="list-style-type: none"> ・説話に描かれた登場人物の特徴に関心を持つ。 ・古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間・社会・自然などについて考察する。 ・古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりする。 		中 間 ・ 期 末
	2	故事成語 『塞翁が馬』 『朝三暮四』 『杞憂』	<ul style="list-style-type: none"> ・言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。 		
2 学 期	3	今昔物語集 『絵師と大工』 『玄象の琵琶』 『姨母捨山』	<ul style="list-style-type: none"> ・説話が描く世界のおもしろさを味わう。 ・説話の構成と展開を理解し、その理解した内容を表現できるようになる。 ・登場人物の心情を考えて音読・朗読する。 		中 間 ・ 期 末
	4	論語 『孔子の人となり』 『孔子と政治』	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の考えに興味を持ち、現在に照らし合わせる。 ・孔子の考え・心情を理解しながら音読する。 ・孔子・老子の人となりと政治観を理解する。 		
	5	十訓抄 『笛吹き成方』 『行成と実方』	<ul style="list-style-type: none"> ・古代中国の思想に興味を持ち、現在に通用するか考える。 		
6	老子 『大同廃れて、仁義あり』 『天下水より柔弱なるは莫し』	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や比喻を正確に読みとり、その思想を追究する。 			
3 学 期	7	三国志 『三たび往きて、乃ち見る』	<ul style="list-style-type: none"> ・三国志に興味を持ち、前後のストーリー展開を知ろうとする。 ・歴史文学のおもしろさを味わう。 		学 年 末

科目名	古典B	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)	
学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。			教科書・副教材等	精選古典B 改訂版 (大修館書店) 新訂国語図説 (京都書房)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題		
読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題		
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題		
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			
1 学 期	説話 『古今著聞集』 説話と寓話 長安何如日遠 仁斎赤貧 随筆 『枕草子』 物語(一) 『大和物語』 史伝 荆軻 物語(一) 『大鏡』		・戦場での連歌に込められた人物の心情をとらえる。 ・論理の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。 ・歴史上の人物の感慨や人生観を理解する。 ・会話や敬語に注意して、登場人物の関係を把握する。 ・作品の“場”としての宮廷の日常生活のあらましを理解する。 ・当意即妙の、言葉によるやりとりのおもしろさを読み取る。 ・人間の生き方、思想や感情を理解し、人生についての認識を深める。 ・「姥捨伝説」について調べる。 ・長い文章を読み、漢文を読解する能力を増進する。 ・『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さを鑑賞する。 ・『史記』の文章表現の妙味や、そこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにする。 ・登場人物の才能、行動、心情を作者がどのようにとらえているかを読み取る。 ・当時の中国文化の影響について認識を深める。 ・『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。			中 間 ・ 期 末
2 学 期	日記 『蜻蛉日記』 漢詩 桃夭・石壕吏 物語(二) 『源氏物語』 文章 春夜宴桃李園序 評論 『古今和歌集仮名序』 『玉勝間』 思想 老子・韓非子		・作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。 ・地の文、会話文、和歌のつながりを把握する。 ・歴代の古体詩を読み、その特色を理解する。 ・古体詩の形式や表現について理解する。 ・文学作品を鑑賞する能力を高める。 ・語句の意味や文法を理解し、正しく読解する。 ・場面の状況や人物の心理を正確にとらえ、微妙な心理の動きを理解する。 ・和歌や自然描写などを味読する。 ・当時の習俗や文化的環境についての理解を深める。 ・敬語に注意して、人物関係を把握する力を高める。 ・『源氏物語』の特色を理解し、内容への関心を高める。 ・名文として知られる作品を深く読み味わう。 ・作品に表れる作者の人生観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。 ・中国の文章のジャンルとその歴史について知る。 ・和歌についての作者のとらえ方を読み取る。 ・学問とは何かについて、筆者の考えを理解し、考えを深める。 ・背景となる諸子百家の状況についての理解を深める。			中 間 ・ 期 末
3 学 期	和歌・歌謡・俳諧(古典編I)		・和歌の発想や表現、韻律、修辞法など、独特の表現方法を理解する。 ・『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の歌風の特徴をつかむ。 ・歌謡の韻律、題材上の特色について考える。 ・切れ字や季語など、発句の決まりを理解し、芭蕉・蕪村・一茶それぞれの俳風を鑑賞する。			学 年 末

科目名	地理 B	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組
学習の到達目標	1 系統地理的学習と地誌的な学習を通して、現代世界の特色や動向を考察し、地理的な見方や考え方を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養うことができる。 2 地理的事象の地域性・背景・要因を理解し、課題や将来像を考えることができる。		教科書・副教材等	新詳地理 B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識が高まっている。 国際社会に主体的に生きる日本人としての責任や国際社会の一員としてのあり方や生き方について、自覚を深めようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 発表の積極性と内容 プリントやノートのまとめ方 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象から課題を見出している。 課題を系統地理的・地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 課題解決に向けた論述とその構成及び内容 	
資料活用・表現	<ul style="list-style-type: none"> 地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択し、活用することができる。 諸資料から現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 地図・統計・グラフの選択と読み取り、活用 資料を用いた発表 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象についての基本的事項や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 各種プリントやノートの内容 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題 第Ⅲ部 現代世界の地理的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 1節 地域区分とは何か 2節 東アジア 3節 東南アジア	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の調査については、野外調査の手順や調査内容の分析方法やまとめ方などを習得する。離れた地域の調査については、資料調査や文献調査の進め方を習得する。 地域のスケールや視点による見方の違いを理解する。 アメリカ合衆国やオーストラリア、インドなどの自然や産業、生活・文化などを理解するとともに、調査法を習得する。 近隣諸国の研究について、韓国や中国、ロシアをとりあげ、日本との共通性や異質性、日本との交流に着目して考察する。 			中間・期末
2 学 期	4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア 9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> 州・大陸規模の地域調査について、西アジア・中央アジアやヨーロッパ諸国、東南アジアの文化の多様性や国境をこえた活動に注目し、その現状と課題を理解するとともに、調査法を習得する。 現代世界の国家や交通・通信、貿易と経済圏について、その現状と課題や、今後の日本の在り方について考察する。 			中間・期末
3 学 期	3章 現代世界と日本 1節 日本が抱える地理的な諸問題 2節 日本の抱える課題の追究	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人口・食料問題と日本の人口・食料問題について理解し、今後の取組を考察する。 世界と日本の都市・居住問題について、先進国と発展途上国の事例から理解し、今後の取組を考察する。 			学年末

科目名	地理探究	単位数	1	学科・学年・学級	普通科3年2組Bコース（選択）
学習の到達目標	1 世界の自然や文化、社会生活について理解と知識を深め、国際社会の一員としての自覚と責任を認識する。 2 身近な地域について学習し、郷土に対して誇りと自信を持つ。	教科書・副教材等	地理ワークブック （愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会 地理部門） 新詳高等地図（帝国書院）		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識が高まっている。 国際社会に主体的に生きる日本人としての責任や国際社会の一員としてのあり方や生き方について、自覚を深めようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 発表の積極性と内容 プリントやノートのまとめ方 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象から課題を見出している。 課題を系統地理的地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 課題解決に向けた論述とその構成及び内容 	
資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択し、活用することができる。 諸資料から現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付け、考察した過程や結果を適切に表現することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 地図・統計・グラフの選択と読み取り、活用 資料を用いた発表 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象についての基本的事項や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 各種プリントやノートの内容 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	1 身近な地図の作成 (1) 自宅から学校までの地図 (2) 久万高原町観光マップ 2 地球について 3 世界の国について (1) 旅行企画を立てよう (2) 企画の発表	<ul style="list-style-type: none"> 主題に合致した地図の作成 地理Bで学習したことの確認 地理情報・国政情報・観光情報を踏まえ、パンフレットを作成し発表し、相互に評価し合う。 			期末
2 学 期	4 「地理能力検定試験」の利用 (1) 自然地理 (2) 文化 (3) 社会・時事 5 世界遺産について (1) 世界遺産の確認 (2) 世界遺産マップの作成	<ul style="list-style-type: none"> 新聞・雑誌を利用し、現在起こっている事象を交えながら地理の知識を深める。 映像による学習によってより深く地理的事象を捉える。 ビデオ教材を用いて世界遺産について調べ、地図を活用して表現する。 			期末
3 学 期	6 新聞から (1) 時事の要約 (2) 意見・感想	<ul style="list-style-type: none"> 自主教材を活用し、自分の意見や感想を書く。 			学年末

科目名	政治・経済	単位数	3	学科・学年・学級	普通科3年2組A全、B(選択)
学習の到達目標	1 現代の政治や経済、国際社会の仕組みや動向について理解を深め、良識ある公民としての基礎的教養を高める。 2 広い視野に立ち、現代における政治や経済、国際社会に関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。		教科書・副教材等	高等学校 改訂版 政治・経済 (第一学習社)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄に対して関心が高まっている。 主体的、意欲的に課題を追究している。 社会的事象を総合的に考える態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての生き方を考え、社会の一員としての自覚を深めようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度 発表の積極性と内容 レポートやプリント、ノートのみとめ方 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄から課題を見出している。 社会事象の本質や人間としての生き方について広い視野にたつて多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査(論述問題) 授業中の発表と内容 課題解決に向けた論述とその構成及び内容 	
資料活用・表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸事象についての資料を多様なメディアを通して収集することができる。 情報を主体的に選択し、活用することができる。 課題を追究し、考察した過程や結果を適切に表現することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査(論述問題) 統計・グラフの選択と読み取り、活用 資料を用いた発表 レポート及び課題プリント 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 政治・経済の各分野に関する基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。 現代社会で生起する問題が複合的要因で生じていることを理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査及び小テスト 授業中の発表と内容 各種プリントやノートの内容 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第2章 現代の国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> 人権保障や法の支配など、民主政治の原理やその発展について理解し、民主政治のあり方について考察する。 日本国憲法の成立過程や、基本原則について理解するとともに現代の社会における課題について考察する。 国会、内閣、裁判所などの政治機構について理解を深め、日本の政治機構の課題について考察する。 「民主主義の学校」といわれる地方自治の意義と問題を理解し、今後の地方自治のあり方について考察する。 日本の選挙制度について理解を深め、自発的に政治に参加する意識を養う。 国際政治のしくみを理解し、国際社会における日本の役割を考察し、国際社会の一員としての態度を養う。 			中間・期末
2 学 期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済 第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済と社会主義経済の特徴やその変容を理解する。 市場経済の機能を理解し、景気の変動、財政の役割について理解を深め、現代社会の経済の動きを考察する。 日本経済の特質を理解し、日本経済の問題を考察する。 国際経済のしくみや国際分業、国際経済機関の役割について理解を深め、国際経済における日本の役割を考察する。 大きな政府と小さな政府、少子高齢化と社会保障、住民生活と地方自治、食料問題、環境問題、消費者保護、労働問題等の現代の諸課題を追究し、多様な角度から考察する。 			中間・期末
3 学 期	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題、核兵器と軍縮、人種・民族問題、経済摩擦と外交、南北問題、国際社会における日本の役割等の国際社会の政治や経済の諸課題について追究し、国際社会における日本の役割について深く考察する。 			学年末

科目名	数学Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択) 普通科 3年2組(選択)	
学習の到達目標	指数・対数関数、微分・積分について、その概念や原理・法則の理解を深め、数学的活動を通して創造性の基礎を培い、事象を数学的に考察し、処理する能力や積極的に活用する態度を養う。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅱ (数研出版) パラレルノート 数学Ⅱ (数研出版) 数学就職問題集 (浜島書店)	
評 価 規 準						
観 点	内 容			方 法		
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> 課題への取り組み ノートのまとめ方 説明を聞く態度 身だしなみ 		
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> 課題の解答 ノートのまとめ方 発問に対する応答 定期考査 		
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現・処理する方法や推論の仕方を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> 課題の解答 発問に対する応答 プリント 定期考査 		
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語及び記号などを理解し、基礎的な知識を身に付ける。			<ul style="list-style-type: none"> 課題の解答 発問に対する応答 プリント 定期考査 		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	[数学就職問題集] 数と式の復習 方程式・不等式の復習 関数の復習 場合の数と確率の復習 図形の復習			<ul style="list-style-type: none"> 中学校や高等学校で学習した基本的事項を確認するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 		中間・期末
2 学 期	[数学Ⅱ] 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化			<ul style="list-style-type: none"> 累乗の意味を理解し、指数を自然数・整数・有理数・実数全体へと拡張できるようにする。 指数関数及び対数関数の定義を理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 関数の平均変化率を考え、微分係数や導関数の定義を理解する。 グラフ上の点の傾きから導関数の符号により関数の増減を調べることができるようにする。 増減表を書いて、極大値・極小値、最大値・最小値を求めることができるようにする。 		中間・期末
3 学 期	第3節 積分法			<ul style="list-style-type: none"> 微分の逆演算として不定積分の考え方を理解する。 積分の考え方をを用いて面積を求めることができるようにする。 		学年末

科目名	数学Ⅲ	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	改訂版 新編 数学Ⅲ (数研出版) FocusZ 数学Ⅲ (啓林館)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。			・課題への取り組み ・ノートのとまとめ方 ・説明を聞く態度 ・身だしなみ	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			・課題の解答 ・ノートのとまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1章 複素数平面	・複素数平面を用いて複素数を図示し、複素数の実数倍、和、差、積及び商の幾何学的な意味を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・簡単な分数関数及び無理関数を扱い、関数概念の理解を一層深める。簡単な関数を用いて合成関数、逆関数の意味を理解する。 ・微分法、積分法の基礎として極限の概念を理解し、それを数列や関数値の極限の考察に活用できるようにする。 ・「数学Ⅱ」で学習したことを発展し、和、差、積、商及び合成関数の微分法を扱い、多項式関数だけでなく、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解する。 ・いろいろな関数について、関数値の増減やグラフの凹凸などの考察を通して、微分法の有用性を認識するとともに、微分法を速度・加速度などの考察にも活用できるようにする。			中間・期末
	第3章 関数				
	第4章 極限 数列の極限 関数の極限				
	第5章 微分法 導関数 いろいろな関数の導関数				
	第6章 微分法の応用 導関数の応用 いろいろな応用				
2 学 期	第2章 式と曲線 2次曲線 媒介変数表示と極座標	・幾何学的な定義に基づいて導き出された二次曲線の方程式とその概形について考察し、二次曲線の基本的な性質を理解する。また、曲線を表す式として媒介変数を用いた式や極方程式を理解し、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 ・積分の基本的な性質や置換積分法及び部分積分法について理解し、これらの方法に習熟するとともに、その有用性を認識し、図形の面積や立体の体積を求めることなどに活用できるようにする。			中間・期末
	第7章 積分法とその応用 不定積分 定積分 積分法の応用				
3 学 期	発展学習	・数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。			学年末

科目名	科学と人間生活	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	1 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解する。 2 科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高め、今後の科学と人間生活がどのように関わっていくべきかを考える。			教科書・副教材等	科学と人間生活 (啓林館) 科学と人間生活の学習ノート (啓林館)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心を持ち、意欲的に探求しようとする。			・実験への取り組み ・課題の提出状況 ・ノート	
思考・判断・表現	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題を見いだし、観察、実験などを通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			・定期考査 ・ワークシート ・実験レポート (考察)	
観察・実験の技能	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けている。			・実験の習熟度 ・実験データの処理 (計算、作図) ・発表の方法	
知識・理解	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、観察、実験などを通して理解し、知識を身に付けている。			・問題プリント ・実験レポート ・発表の内容	
学 習 計 画					
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い	
1 学 期	序章 科学技術の発展 第1部 生命の科学 第1章 生物性と光 第2章 微生物とその利用			・ 科学技術の進歩・発展を、情報・通信技術を例にして、人間生活に果たしてきた役割を学ぶ。 ・ 植物の育成と光、ヒトの視覚と光、動物の行動と光について学び、生物の活動と光との関係を理解する。 ・ 生態系における微生物のはたらき、微生物と人間生活について学び、微生物が生態系や人間生活とどのように関わっているかについて理解する。	
2 学 期	第2部 物質の科学 第1章 食品と衣料 第2章 材料とその再利用 第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 第2章 熱の性質とその利用			・ 食品、衣料、染料、洗剤などについて学び、その性質や利用の仕方について化学の観点から理解する。 ・ プラスチック、金属、セラミックスが、身の回りの様々なところに利用されていることを学び、物質の種類、性質および用途や、資源の再利用について理解する。 ・ 光の性質とその利用、電磁波について学び、どのように利用されているかを学習する。 ・ 熱の性質とその利用、エネルギーについて学び、エネルギーの移り変わりなどについて理解する。	
3 学 期	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 身近な天体と太陽系における地球 第2章 自然景観と自然災害 終章 これからの科学と人間生活			・ 自然景観の成り立ちや自然災害について、太陽放射や地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて理解する。 ・ 身近に見られる天体と人間生活との関わりについて理解する。 ・ 自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割を踏まえて、これからの科学と人間生活との関わり方について考察する。	
				中間・期末	学年末

科目名	物理	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			教科書・副教材等	改訂版 物理 (数研出版) 四訂版 リードα物理基礎・物理 (数研出版)
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	物理学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の態度 ・実験や実習への取組み ・授業ノート、訂正ノートの提出状況 	
思考・判断・表現	物理学的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・章末問題テスト ・実験レポートの考察 	
観察・実験における技能	物理学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・実験や実習の習熟度 ・実験データの処理 (計算やグラフ化など) 	
知識・理解	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・章末問題テスト ・実験レポート ・発表の内容 	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 第2章 剛体 第3章 運動量の保存 第4章 円運動と万有引力 第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ・運動とエネルギーについての基本的な見方や考え方にに基づき、物体の運動を観察、実験などを通して探究し、力と運動に関する概念や原理・法則を系統的に理解し、それらを活用できるようにする。 ・気体分子の運動と圧力の関係や内部エネルギーについて気体の分子運動と関連付けて理解する。 ・気体の状態変化における熱、仕事及び内部エネルギーの関係を理解する。 			中間・期末
2 学期	第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 第3章 光 第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流 第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> ・水面波、音、光などの波動現象を観察、実験などを通して探究し、共通する基本的な概念や法則を系統的に理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。 ・電気や磁気に関する現象を観察、実験などを通して探究し、電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則を系統的に理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。 			中間・期末
3 学期	第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核	<ul style="list-style-type: none"> ・電子、原子及び原子核に関する現象を観察、実験などを通して、探究し、原子についての基本的な概念や原理・法則を理解する。 			学年末

科目名	化学	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)	
学習の到達目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			教科書・副教材等	化学 改訂版 (啓林館) セミナー化学基礎+化学 (数研出版) 化学基礎・化学実験ノート (高教研理科部会化学部門)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ・実験に臨む意欲や態度 ・報告書の提出状況 ・授業ノート 		
思考・判断・表現	化学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・実験ノート (考察) 		
観察・実験における技能	化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・実験の習熟度 ・実験データの処理 ・発表の方法 		
知識・理解	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 ・実験ノート ・発表の内容 		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第3部 無機物質 第1章 周期表と元素の分類 第2章 非金属元素 第3章 典型金属元素 第4章 遷移元素 第5章 生活と無機物質			<ul style="list-style-type: none"> ・ 典型元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。 ・ 遷移元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。 ・ 無機物質が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解する。 		中間・期末
2 学 期	第4部 有機化合物 第1章 有機化合物の特徴と構造 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 酸素を含む脂肪族有機化合物 第4章 芳香族化合物 第5章 生活と有機化合物 第5部 高分子化合物 第1章 天然高分子化合物			<ul style="list-style-type: none"> ・ 有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。 ・ アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸、エステルなどを取り上げ、それらの性質は炭素骨格及び官能基により特徴付けられることを理解する。 ・ 高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、理解する。 		中間・期末
3 学 期	第2章 合成高分子化合物 第3章 生活と高分子化合物			<ul style="list-style-type: none"> ・ 合成高分子化合物や天然高分子化合物の特徴を理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。 		学年末

科目名	体育	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科3年1組、普通科3年2組	
学習の到達目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を習得したり、高めたりして、運動の楽しさや喜びを体験する。 2 体の調子を整えたり、仲間との交流を自主的・計画的・積極的に育成したりする資質を身に付ける。 3 公正・協力・責任などの社会的な態度を育て、健康・安全に留意し生涯を通じて継続的に運動できる能力や態度を育成する。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート (大修館書店)	
評価						
観点	評価規準				方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全に留意し互いを尊重して練習や試合を自主的に行うとともに、公正な態度が取れるようにしている。 互いに協力し、自己に適した楽しみ方ができるよう積極的に取り組もうとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> 参加意欲の観察 活動状況の観察 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 特性に応じた動きを選択し工夫して練習を行い、互いの動きを評価しようとしている。 全員が楽しめるようにルールを工夫し、アイデアを出し合って学習を進めている。 				<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 	
技能	<ul style="list-style-type: none"> ゲームで役立つチーム練習や戦術を、他者と協力して高めようとする工夫をしている。 集団的、個人的技能を活用し、学習段階に応じた作戦を立てゲームに取り組もうとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> 活動状況の観察 スキルテストや記録会の結果の分析 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 互いに練習計画を立てたり、試合の運営をしたりしている。 個々の能力に応じた課題やチーム課題の解決を目指して、計画的な練習や試合をしている。 				<ul style="list-style-type: none"> ゲームの中の審判等の実施状況の観察 理解状況の観察 	
学習計画						
	学習内容		学習のねらい			考查
1学期	1 体育の学習について 2 体育理論 3 体づくり運動 4 球技(選択) サッカー ソフトボール バスケットボール バレーボール バドミントン 卓球		<ul style="list-style-type: none"> 現代社会におけるスポーツの意義や必要性、スポーツライフの設計と実践についての理解を深める。 集団行動の意義や行い方を理解する。 自己の体力や生活に応じた体づくりを行うことができるように体づくり運動を計画的に実践していく方法を学習する。(球技) 技能に応じた攻め方・守り方とルールを工夫して練習やゲームができるようにする。 攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。(体操・ダンス) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、精神的なストレスを解消し体と心の安定を図る。 他者と協力してリズムの取り方や動き方などを工夫して創作し、踊りを楽しみ、交流することができるようにする。(陸上競技) 			実施なし
2学期	1 体操・ダンス 2 球技(選択) サッカー バスケットボール バレーボール テニス バドミントン 卓球 3 陸上競技(中長距離走)		<ul style="list-style-type: none"> 自己に適したペースで走ることができ、自己の記録に挑戦できるようにする。 動きを持続する能力を高める運動ができるようにする。(体育理論) 各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツへのかかわり方の特徴や条件があることや、それらの特徴や条件に応じて無理なく計画を立てること、生涯スポーツの実践を支える環境を確保するためのスポーツ振興に向けた施策や条件、スポーツが環境に及ぼす影響に配慮する必要があることについて理解する。 			実施なし
3学期	球技(選択) サッカー バスケットボール バレーボール テニス バドミントン 卓球		<ul style="list-style-type: none"> 自己に適したペースで走ることができ、自己の記録に挑戦できるようにする。 動きを持続する能力を高める運動ができるようにする。(体育理論) 各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツへのかかわり方の特徴や条件があることや、それらの特徴や条件に応じて無理なく計画を立てること、生涯スポーツの実践を支える環境を確保するためのスポーツ振興に向けた施策や条件、スポーツが環境に及ぼす影響に配慮する必要があることについて理解する。 			実施なし

科目名	スポーツⅡ	単位数	3	学科・学年・学級	普通科3年2組（選択）	
学習の到達目標	1 各種の運動の特性について理解し、自己の能力に適した目標や課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して基本的な技能を高める。 2 運動におけるマナーや各種の競技規則を守り、公正・協力・責任などの社会的な態度や安全に練習する態度を育成する。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート （大修館書店）	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・約束や決まりを守り、健康安全に留意して進んで楽しく運動している。 ・互いに協力し、自己に適した楽しみ方ができるよう、積極的に取り組んでいる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・参加意欲の観察 ・活動状況の観察 		
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの動きを評価している。 ・互いに協力して練習やゲームをしている。 ・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 		
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の技能を、できるものから、さらに高いものへと発展させている。 ・個人的技能を活用して、学習段階に応じた計画を立て、練習に取り組んでいる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況の観察 ・スキルテストやゲームの結果の分析 		
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習やゲームの仕方を工夫している。 ・マナーやルールを理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの中のマナー ・ルールの把握 ・理解状況の観察 		
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考 査
1 学 期	1 スポーツⅡの学習について 2 体づくり運動 3 球技（選択） （男子）ソフトボール ゴルフ （女子）テニス ゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における「保健体育」の特性や意義・内容・評価の方法を理解し、現代社会におけるスポーツの意義や必要性、豊かなスポーツライフの設計と実践についての理解を深める。 ・運動を適切に行うための集団行動の意義や行い方を理解する。 ・自己の体力や能力の特徴を把握し、合理的な練習を通して課題解決を図り、記録の向上や相手との競争の喜びや楽しみを味わうことができるようにする。 				実施なし
2 学 期	球技（選択） （男子）バスケットボール バレーボール （女子）テニス ハンドボール	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 ・互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。 ・種目の特性や基本的なルールを理解し、卒業後の生活の中でスポーツが実践できるように努める。 				実施なし
3 学 期	球技（選択） （男子）バスケットボール 卓球 サッカー （女子）バレーボール バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間通して活動してきたことをレポートにまとめてそれぞれ発表する。 				実施なし

科目名	音楽Ⅲ	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)	
学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。			教科書 ・ 副教材 等	音楽Ⅲ 改訂版 (教育出版)	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとしている。			・授業態度 ・活動状況 ・提出物		
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をしている。			・活動状況 ・実技テスト ・小テスト		
創造的な表現の技能	自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身に付けている。			・活動状況 ・実技テスト ・小テスト		
鑑賞の能力	多様な音楽を理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、そのよさや美しさを創造的に味わっている。			・鑑賞の感想 ・確認小テスト ・レポート		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考查
1 学 期	1	歌唱 ・芸術歌曲 ・日本歌曲 ・混声合唱		・言語の持つ語感を把握し、曲想を感じ取って表現できるようにする。 ・音楽文化について理解を深め、音楽と人間のかかわりについて考えながら表現する。		実施なし
	2	器楽 ・ギター		・様々な奏法を習得する。 ・コード奏によるアンサンブルをする。		
	3	鑑賞 ・西洋の音楽		・オーケストラの楽器について、理解しそれぞれの音色の特徴に留意しながら鑑賞する。		
2 学 期	1	鑑賞 ・西洋の音楽 ・ミュージカル、オペラ		・それぞれの時代背景や演奏形態、作曲者、楽曲の特徴などを学習し、そのよさや美しさを味わう。 ・劇音楽への興味、関心を高める。		実施なし
	2	合唱 ・輪唱 ・混声合唱 ・芸術歌曲		・パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動しながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。 ・曲想に応じた発声の工夫ができる。 ・楽譜中に出てくる記号や用語の意味を理解し、表現できるようにする。		
	3	器楽 ・トーンチャイム		・トーンチャイムに興味を持ち、音色の美しさを感じながら演奏できるようにする。 ・音楽を協力して作り上げる楽しさを味わう。		
3 学 期	1.	合唱 ・混声合唱		・曲想を感じ取りながら各声部の全体的な調和に関心をもち、表情豊かに表現する。		実施なし
	2	卒業式の練習		・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。 ・曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌う。		

科目名	ソルフェージュ	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	音楽の基礎的な知識や技術を習得する活動を通して、音楽の構成する諸要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための能力を養う。	教科書 ・ 副教材 等	Music Navigation (教育出版)		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・活動状況 ・提出物 	
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をしている。			<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況 ・実技テスト ・小テスト 	
創造的な表現の技能	音楽に対する自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況 ・実技テスト ・小テスト 	
鑑賞の能力	多様な音楽を理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、そのよさや美しさを創造的に味わっている。			<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の感想 ・確認小テスト ・レポート 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1	歌唱 ・芸術歌曲、童謡	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の持つ語感を把握し、曲想を感じ取って表現できるようにする。 		実施なし
	2	器楽 ・ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> ・連弾を通して、アンサンブルを楽しむ。 ・歌の伴奏ができるようにする。 		
	3	視唱 ・コールユーブンゲン ・コンコーネ	<ul style="list-style-type: none"> ・視唱力を高め、楽譜を見て歌えるようにする。 ・正確な音程感を養い、歌唱の技術を高める。 		
	4	音楽理論 ・音名、音価、音程	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を様々な音名で読めるようにする。 ・音符や休符、音価、音程について理解する。 		
2 学 期	1	音楽理論 ・音階、和音	<ul style="list-style-type: none"> ・音階や和音について理解し、聴音や視唱ができる基礎的能力を養う。 		実施なし
	2	合唱 ・3部合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・パートの役割を意識し、協力し合って主体的に合唱活動をしながら、声を重ね合わせる喜びを味わう。 ・曲想を感じ取りながら各声部の全体的な調和に関心を持ち、表現する。 		
	3	器楽 ・トーンチャイム ・ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> ・トーンチャイムに興味を持ち、音色の美しさを感じながら演奏できるようにする。 ・音楽を協力して作り上げる楽しさを味わう。 		
	4	歌唱 ・芸術歌曲	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜中に出てくる記号や用語の意味を理解し、表現できるようにする。 		
3 学 期	1	音楽理論 ・コードネーム	<ul style="list-style-type: none"> ・和音の種類やコードネームを理解する。 ・ピアノでコード伴奏ができるようにする。 		実施なし
	2	卒業式の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・式典音楽の意義について理解し、意欲的に活動する。 		

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。	教科書・副教材等	Revised ENGLISH NOW English Communication II (開隆堂)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言・発表の内容 ・課題提出、ノート の作成状況	
外国語表現の能力	・幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。			・小テスト、定期 考査 ・課題の内容	
外国語理解の能力	・幅広い話題について、英語を話したり読んだりして伝えようとする情報や考えを整理して理解できる。			・定期考査、課題 テスト ・教科書の内容やその 関連事項についての Q & A	
言語や文化についての知識・理解	・幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題 テスト ・課題の達成状況	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson 6 Rakugo Goes to the U.S. Let's Communicate② Lesson 7 The Kizuna Bridge	・落語を通して外国人が日本文化をおもしろいと思う点を読み取る。 ・make+目的語+動詞の原形について理解する。 ・乗り換え案内の表現を理解し、対話を行う。 ・日本の国際貢献について理解する。 ・関係代名詞を含む文を理解する。			中間・ 期末
2 学 期	場面で理解③ Lesson 8 Ken's Everlasting Challenge Lesson 9 The Zero Emissions Project Let's Communication 3 場面で理解④ Further Activities ①～⑨	・断る、苦情を言う表現を理解する。 ・分詞構文について理解する。 ・俳優、渡辺謙の人生について知り、挑戦することの意味を考える。 ・仮定法過去について理解する。 ・究極のエコカー作りの話を通して、環境問題について考える。 ・仮定法過去について理解する。 ・レストランの注文について理解する。 ・忠告、丁寧に依頼する表現を理解する。 ・既習の内容について、ペアやグループワークをしながら、意見を共有する。			中間・ 期末
3 学 期	Reading 2 Why Don't You Study a Foreign Language? TOKISOBA	・知らない語の意味を文脈から推測したり、これまでに学んだ知識を活用したりしながら的確に内容を読み取る。 ・日本の伝統芸能の落語を英語で味わう。			学年 末
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。	教科書・副教材等		Revised BIG DIPPER English CommunicationⅢ (数研出版) スクランブル英文法・語法 (旺文社)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な態度で言語活動に参加し、相手とのコミュニケーションを図ろうと努力する。 授業で学んだ表現を積極的に活用して話したり書いたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発言、発表の内容 課題提出、ノート作成状況 	
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> 英語で論理的に意見や感想を述べたり、趣旨が明確な英文で書いたりすることができる。 聞き手に伝わるように英語で音読したり暗唱したりすることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 小テスト、定期考査 課題の内容 	
外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> 英語を理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。 ジャンルや目的に応じて読み方を工夫しながら、概要や要点を捉えることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、課題テスト 教科書の内容やその関連事項についてのQ&A 	
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 単語、熟語、文法などについて、その意味や適切な使い方を理解している。 英語を使う上で必要な文化的背景について理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、課題テスト 課題の達成状況 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson1~Lesson16	<ul style="list-style-type: none"> 言い換え表現について理解する。 追加・列挙・対比・例示の表現について理解する。 討論でよく使う表現を理解する。 対比・譲歩の表現を理解する。 新聞記事の読み方を理解する。 			中間・期末
2 学 期	Lesson17 教育・健康	<ul style="list-style-type: none"> アフリカの子どもたちに必要な靴の英文を読み、ケニアを含むアフリカの事情について読み取る。 			中間・期末
	Lesson18 発表・説明	<ul style="list-style-type: none"> 訪日観光客数の推移のプレゼンテーション資料から図を読み取ったり、意見を要約したりする。 			
	Lesson19 環境・自然	<ul style="list-style-type: none"> 人口の急激な増加と産業の発展によるアジア・アフリカの水不足の深刻化について考える。 			
	Lesson20 言語・文化	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコによる言語消滅の危機についての英文からボトル飲料水の是非について考える。 			
	Lesson21 科学・技術	<ul style="list-style-type: none"> 人工衛星同士の衝突の英文を読み、宇宙ゴミについて読み取る。 			
3 学 期	Lesson22 歴史・人権	<ul style="list-style-type: none"> ハリエット・タブマンについての伝記を読み、要約文を作る。 			学年末
	Lesson23 自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> ネオニコチノイドという農薬の英文を読み、環境について考え、必要な内容に要約する。 			
	Lesson24 心理・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> マーク・トウェインについての伝記を読み、意見と事実の区別をする。 			
	Lesson25 技術・社会	<ul style="list-style-type: none"> ディスカッションをする。 			
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	英語表現Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。			教科書・副教材等	New ONE WORLD Expressions Ⅱ (第一学習社) SEED総合英語 [四訂新版] (文英堂) 英語ターゲット1400 5訂版 (旺文社)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言、発表の内容 ・ペアワーク、グループワークの活動状況	
外国語表現の能力	・事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、英語で伝えることができる。			・小テスト、定期考査 ・教科書の内容やその関連事項についてのQ&A	
言語や文化についての知識・理解	・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	LESSON 17		・依頼・許可・断りを表す表現を理解する。		中 間 ・ 期 末
	LESSON 18		・助言・忠告を表す表現を理解する。		
	LESSON 19		・提案・勧誘を表す表現を理解する。		
	LESSON 20		・予定・意図を表す表現を理解する。		
	LESSON 21		・祝福・喜び・感謝を表す表現を理解する。		
	LESSON 22		・希望・期待を表す表現を理解する。		
	LESSON 23		・苦情・謝罪を表す表現を理解する。		
LESSON 24		・場所・方向を表す表現を理解する。			
2 学 期	LESSON 25		・数量・頻度・割合を表す表現を理解する。		中 間 ・ 期 末
	LESSON 26		・比較・対照を表す表現を理解する。		
	LESSON 27		・目的を表す表現を理解する。		
	LESSON 28		・程度・結果を表す表現を理解する。		
	LESSON 29		・原因・理由・根拠を表す表現を理解する。		
	LESSON 30		・説明・描写を表す表現を理解する。		
	LESSON 31		・例示で使われる表現を理解する。		
LESSON 32		・主張・賛成・反対を述べる。			
3 学 期	LESSON 33		・推察・確信を表す表現を理解する。		学 年 末
	LESSON 34		・列挙・時間的順序を述べる表現を理解する。		
	LESSON 35		・パラグラフライディングにチャレンジする。		
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	英語探究	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	<p>1 様々な時事内容を網羅した英文を読むことによって、英語を通して知識を高め、自分の考えをまとめるとともに、英語のコミュニケーション活動に必要な力を養う。</p> <p>2 英文を読んで、必要な情報や書き手の意向を得て、自分の考えや要点を伝える。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	教科書・副教材等	Watching World (浜島書店) Listening & Speaking Training Seminar 2 (株式会社ラーズ)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に関心を持ち、意欲的に英語を読み、コミュニケーションを円滑に図ろうと、努力している。 聞き手に伝わるように音読に積極的に取り組んでいる。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発言、発表の内容 課題提出、ノートの作成状況 	
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> まとまりのある文章を読んで、その内容について自分の考えなどを伝えることができる。 身近な英文のニュースなどを読んで、その感想を述べるができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 小テスト、定期考査 課題の内容 	
外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> まとまりのある文章を読んで、必要な情報を読み取り、概要や要点をまとめることができる。 まとまりのある文章を読んで、書き手の意向などを読み取ることができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、課題テスト 教科書の内容やその関連事項についてのQ&A 	
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 英文を読むために、必要な文法や語彙を知識として豊富に持っている。 学習で取り扱われた文化の内容を理解し、自国の文化との違いを理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、課題テスト 課題の達成状況 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> 中国の食文化について読み、好きな料理の特徴や食材について発表する。 			中 間 ・ 期 末
	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> 多言語国家シンガポールの社会について読み、習ってみたい外国語について発表する。 			
	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア英語について読み、方言について話す。 			
	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> インドのガンジス川について読み、日本の観光地やイベントについて話をする。 			
	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> トルコ料理について読み、外国人に勧めたい日本食について説明する文を作る。 			
2 学 期	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ラマダンについて読み、日本の伝統行事について話す。 			中 間 ・ 期 末
	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> 電子化の進むケニアについて読み、スマートフォンの便利な機能やアプリについて発表する。 			
	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ロシア正教について読み、日本の寺や神社を案内するときの説明を考える。 			
	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> イギリスの寄宿舎について読み、学校生活の思い出について発表する。 			
	Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> アイスランドのエネルギー政策について読み、日本のエネルギー利用の課題について考える。 			
	Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> ブラジルの移民について読み、現代社会における移民の問題について考える。 			
3 学 期	Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> メキシコの「死者の日」について読み、日本のお盆やお墓参りについて発表する。 			学 年 末
	Lesson 13	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの州制度について読み、日本との違いを考える。 			
<p>【技能審査の成果の単位認定】</p> <p>・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語I」の単位数に3単位を加えることができる。</p>					

科目名	子どもの発達と保育	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組(選択)
学習の到達目標	1 乳幼児の発育・発達、乳幼児の生活、保育、福祉に関する知識と技術を習得する。 2 実習を通して、乳幼児の保育や福祉の充実を図る能力や態度を育てる。	教科書・副教材等	子どもの発達と保育 育つ、育てる、育ち合う (教育図書)		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
主体的に学習に取り組む態度	乳幼児の保育に関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 作品 教師の観察記録 取組状況 	
思考・判断・表現	乳幼児の保育に関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ノートやレポート 定期考査 	
知識・技能	基礎的・基本的な技術を身に付け、実習を計画的に行うことができる。 乳幼児の保育に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、発表 実習態度 作品 定期考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学期	第1章 子どもの発達の特徴 第2章 子どもの発達過程	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージにおける乳幼児期の位置付けを確認し、生涯発達のために乳幼児期が大切であることを理解する。 日本の児童観の変遷と、社会環境や法制度のしくみについて理解する。 乳幼児期の発達と、環境の関係を理解する。 愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解する。 親や家族、地域社会などの環境が子どもの人格形成に与える影響を考える。 保育園への訪問を通して、幼児理解を深める。 			期 末
2 学期	第3章 子どもの生活 第4章 子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> 養護の必要性、目的を理解し、発達段階に応じた適切な養護の方法について考える。 子どもにとって遊びは重要であり、自然に触れる喜びや感動が豊かな心を育むことを理解する。 子どもの健康を守るための保育者の役割を理解し、健康状態の観察方法を知るとともに、病気の特徴や住まいに潜む危険について理解する。 人間形成の基礎を培う乳幼児期の大切さと保育の意義について考える。 子どもが育つ環境の問題点を知り、家庭での保育と集団保育のそれぞれの課題について考える。 幼稚園への訪問を通して、幼児理解を深める。 			期 末
3 学期	第5章 子どもの福祉と子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法や児童福祉関連施設の概要について理解する。 子育て家庭への支援に関する施策を理解し、その意義について考える。 			学 年 末

科目名	フードデザイン	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	1 栄養、食品、調理などに関する知識と技術を習得する。 2 食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。 3 食物調理技術検定2級以上を習得する。	教科書 ・ 副教材 等		フードデザイン Cooking & arrangement (教育図書) 最新生活ハンドブック (第一学習社) 調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編)	
評価					
観点	評価規準			方法	
主体的に学習に取り組む態度	フードデザインに関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 教師の観察記録 取組状況 	
思考・判断・表現	フードデザインに関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 課題やノート、ワークシート、感想 実習の計画、記録 作品 定期考査 	
知識・技能	食生活を総合的にデザインする能力を身に付け、実習を計画的に行うことができる。 フードデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			<ul style="list-style-type: none"> 献立作成 料理の仕上がり 実習ノート プリント 定期考査 	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1学期	第1章 食生活と健康 第3章 調理と献立 食物調理技術検定3級	<ul style="list-style-type: none"> 家族・友人等集団での食事を共にすることの意義を再確認する。 食材の背景にあるものに気づき、食料の価値を考える。 栄養バランス、年齢、性、身体活動レベル、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、用途に適した献立が作成できる。 技術検定の実施によって、調理に必要な知識と技術を養う。 			期末
2学期	第2章 栄養素・食品の特徴 第4章 調理実習 食物調理技術検定2級	<ul style="list-style-type: none"> 栄養バランスを考えながら、1日分の献立を考え、調理できるようにする。 各種栄養素の特徴と体内ではたらきについて理解する。 食品の特徴や調理性を理解する。 食中毒や衛生についての知識を深め、衛生と安全に配慮した調理ができる。 だし、味覚効果、料理の触感や温度、素材の持ち味等おいしさに関わる要素を理解し、調理に生かせる。 			期末
3学期	第5章 豊かな食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 和風、洋風等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解する。 			学年末

科目名	財務会計Ⅰ	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	1 2年次の簿記で学んだことを発展させ、特殊な取引の記録・計算・整理をする。 2 簿記で作成した帳簿や報告書を、利害関係者説明に説明するための計算や理論について学習する。	教科書・副教材等	新訂版 財務会計Ⅰ (東京法令出版) 標準検定簿記問題集2級 1級会計 (とうほう)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 企業における簿記に興味を持ち、理解しようとし、主体的に学習に参加している。 取引の整理ができ、財務諸表の作成技術を身につけようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業態度 ノートの点検 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 会計の基本的な技術を学び、それを活用して、適切な判断ができる。 会計の判断基準に従って判断処理を適切に行うことができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の質問等の応答 演習における姿勢 	
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 会計に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、各種書類が正確に作成できる。 取引を計数的に把握し、適切に処理ができ、的確に表現できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 問題集 プリント 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識を身につけ、会計の一連の手続きを理解している。 財務諸表を迅速かつ正確に作成し、内容を分析できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	オリエンテーション 第1編 財務会計の基礎 企業と会計 企業会計制度と会計法規 第2編 貸借対照表 貸借対照表のあらまし 資産の意味・分類・評価	<ul style="list-style-type: none"> 企業会計の意味と役割を理解する。 企業の利害関係者と企業との関係について知る。 会計公準を把握する。 会計法規について知る。 企業会計原則を知り、必要性や適用例を考える。 報告式貸借対照表の様式を知る。 資産を分類する基準を理解する。 			中間・期末
2 学 期	流動資産 固定資産 流動負債 固定負債 純資産 貸借対照表の作成 第3編 損益計算書 損益計算書のあらまし 損益計算書の意味と基準 第4編 財務諸表の活用 財務諸表分析	<ul style="list-style-type: none"> 当座資産の意味を知る。 棚卸資産の意味を知る。 有形固定資産の意味を知る。 無形固定資産の意味を知る。 流動負債の意味を知る。 引出金・保証債務の意味を知り、必要性を考える。 固定負債の意味を知る。 純資産の意味を知り、分類方法を理解する。 資本剰余金と利益剰余金について理解する。 報告式貸借対照表の作成方法を理解する。 損益計算書の意味と基準を理解する。 営業外収益と営業外費用の分類、計算方法を理解する。 特別利益と特別損失の分類、計算方法を理解する。 報告式損益計算書の作成方法を理解する。 財務諸表分析の計算方法を理解する。 			中間・期末
3 学 期	第5編 連結財務諸表 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> 親会社と子会社を理解する。 問題の反復練習を行う。 			学年末
【技能審査の成果の単位認定】					
<ul style="list-style-type: none"> 在学中に「全国商業高等学校協会主催簿記実務検定1級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「財務会計Ⅰ」の単位数に2単位を加えることができる。 					

科目名	情報処理	単位数	4	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	1 情報処理機器の活用に関する知識と技能を習得する。 2 情報を適切に収集、処理し活用する能力と態度を身に付ける。			教科書・副教材等	新訂版 情報処理 (東京法令出版) 情報処理検定試験問題集2、3級 (とうほう)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理機器の活用について関心を持ち、よりよい活用法を身につけようとしている。 知識と技術の習得に意欲的に取り組んでいる。 			<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業態度 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> よりよい情報処理機器の活用方法を目指して、思考を深めている。 基礎・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の質問等の応答 実習における姿勢 	
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理機器の活用に関する基礎・基本的な技術を身に付けている。 情報処理結果を適切に表現できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 進度状況 毎時間の実習プリント 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理機器の活用に関する基礎・基本的な知識を身につけている。 情報の意義や役割を理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	オリエンテーション 第1章 ビジネスと情報処理 第2章 表計算ソフト活用	<ul style="list-style-type: none"> 情報の意義と役割、コンピュータの利用法を通して、コンピュータの役割について理解する。 情報を取り扱う際の留意点について認識する。 コンピュータの基本的な機能や構成内容について理解する。 表計算ソフトの基本的な操作方法について理解する。 全商情報処理検定3級程度の関数を理解する。 			期 末
2 学 期	第3章 ビジネス情報と情報通信ネットワーク 第4章 データベースソフト利用 第5章 ビジネスの計算と表計算ソフト	<ul style="list-style-type: none"> グラフの意義を理解し、グラフの作成技術を習得するとともに、目的に応じたグラフを選択できる能力を身に付ける。 表の体裁の整え方を学ぶ。 情報通信ネットワークの役割とその構成、利用形態の概要について理解する。 インターネットについてビジネスにおける様々な利用方法とその効果について理解する。 データの操作やデータベース関数を利用した集計処理など、用途に応じたデータ処理の方法を身に付ける。 データの処理法、結果の分析、編集をし、報告書の作成に至る一連の技法について習得する。 複利法による利息計算や賦金、積立金などの計算について理解し、表計算ソフトを利用した計算方法を習得する。 			中 間 ・ 期 末
3 学 期	第6章 金融・証券投資の計算	<ul style="list-style-type: none"> 債権の売買や利回りの計算、株式の売買や利回りの計算、株式の評価に関する計算を理解し、表計算ソフトを用いた計算方法を習得する。 			学 年 末
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「全国商業高等学校協会主催情報処理検定1級(ビジネス情報部門)」または「全国商業高等学校協会主催ビジネス文書実務検定1級」を取得した場合、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「情報処理」の単位数に2単位を加えることができる。					